

受賞作品概要

○ 最優秀賞「K0noK0」

武蔵野美術大学 馬場 大和

K0noK0（木の子）は、子どもたちが全身で木を感じるための家具です。座ったり、抱きしめたり、登ってみたり。自由に木と触れ合えます。また、K0noK0 に与えられた抽象的なフォルムは、子どもの想像力をより引き出したいという考えに基づいています。動物や魚、雲に宇宙船。どのように見えるかは、子どもたちの想像力次第なのです。サイズは大と小の二種類。一つの用途にとらわれない、新しい家具のカタチの提案です。



○ 優秀賞「Mai Mai Chair」

東京理科大学 新江 拓実

この家具はカタツムリの形状からインスピレーションを得てデザインしました。子供が楽しく遊びながら使えるように木材の滑らかな曲線を用いた造形となっています。椅子の高さは25cm と子供が自然に座りやすいサイズに設定しており、安心して使用できるデザインとなっています。成長の早い子供たちがこの家具を使わなくなった後でも、庭やテラスに置くことで、家具は新たにオブジェとして生まれ変わります。



○ 奨励賞「キリカブファニチャ」

芝浦工業大学 鎗田 侑

木を伐採すると切株が残る。それは放置され枯れるのを待たれる。みかたを変えれば多様な使われ方が想像できる。家具にも同じことが言えないだろうかと考えました。特定の使用方法に縛られずに、組み立てを楽しむユニットとして、完成しても終わらない、使い方を楽しむカタチを追求した家具です。



○ 奨励賞「Cute worm slide」

拓殖大学 MENDEZ VARGAS PAULINA

全芸魁、孫浩然、楊彬彬

子供たちは虫が好きです。大きなワーム（尺取り虫）は子供たちの友達になります。木にいるワームをイメージして、木製のすべり台を制作しました。家ですべり台として遊べるし、椅子として座ることができます。普段から木材に座ったり、滑ったり、寝転んだりすることで、木材への愛着が高まることを期待しています。

